

第70回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 番組部門 審査結果および講評

■ラジオドキュメント部門

審査順	学校名	作品名	結果	田中主審講評	審査講評
1	箕面自由	MC SHIP	入選	Shipくんの言葉にたいする感覚が素晴らしい。ラップをきちんと聞かせてほしかった。心境の変化をもっと劇的にわかせてほしかった。	高3ラッパーという取材相手が良い。一人語りが高く、単調。音声バランスに注意。ナレが大きかった。後半にBGMが流しっぱなしになっていたが、切り替えが欲しい。本人以外からの取材がほしい。一人の思い出を話しているだけになってしまう。全体に単調。間やブリッジの使用がほしい。本人以外への取材が欲しい。ラジオドキュメントとしていい題材。もっと攻めるBGMにしてもよい。冒頭の「何?何?」となるつかみが良い。「音痴」という表現についての注意が必要。取材対象者との間に信頼関係が成立しており、自然体でのインタビューに成功している。ファンや家族の声も取材できればよかった。ラッパーが素材なのでもっとBGMがほしい。インタビューが多く単調になる。【不備ではないが、自作曲の隣接許諾は必要?】
2	四天	私たちとSDGs	4位	SDGsを身近なところから掘り下げられるのが良い。ナレーションを機械的な音声にしたことが効果的。ラストのメッセージがちょっと上からなことが惜しい。	高校生にもできるSDGsというテーマ設定がよい。ナレーションの説明が多い。まどめはナレーションでない方がよいかも。ナレーションが聞きやすい。ポスターについての説明が欲しい。ラジオよりテレビ向き? ナレーションがきれいだが、息の音が気になる。ポスターがキーアイテムなので、テレビの方がいさわしかった。図案をしっかりと解説できている点は良い。高校生の活動に焦点を当てており、題材の内容や選び方がよい。テーマは面白い。言葉による説明で進行していて単調に聞こえる。テレビ向き。【中村さんの許諾は? 生徒の許諾は?】
3	府堺西	ことば、つなぐ	1位	主題が明確で掘り下げられていく構成が良い。インタビューに色々なアングルがあり、豊になっている。人・歴史のつながりを学ぶ大切さが伝わった。ラストのMが軽いのが惜しい。	テーマ設定がよい。「言葉」をラジオドキュメントで扱っている点が良い。国語だけでなく、理科や体育の先生にも聞いているところがよい。〇〇のサカイ先生がまとめているのかを聞きたい。身近なテーマで、構成もよい。生徒の声が多く、よく取材できている。高校生らしいテーマ。多くの人にインタビューしている点が良い。学校外の人にインタビューしても面白い。先生のコメントが多い。古典を高校で学ぶ意義に迫り、多方面への取材を地道に行っている。同じ高校生へのメッセージとなっており、届けたい対象や内容が明確。「古典」のアクセントがかなり気になる。生徒のインタビューと国語の先生のコメントが配列的にかみ合っていない。ナレーションでまとめすぎ。
4	箕面自由	先が見えなくても	3位	情熱について深く掘り下げている構成がうまい。なぜ?という純粋な疑問を大事にしている。	林先生のインタビュー1つが長め。先生の熱意は伝わるが、まとめ方に工夫を。具体的なものが見えづらい。テーマパークのイメージが浮かびにくい。もう少し説明してほしい。先生の想いは伝わったが、具体的なところがわかりにくい。先生の言葉はいい言葉ばかり。映像作品で実際に見てみたい。何気なく始まったドキュメントの中で、これはすごいネタだと気づき、思わず聞き入ってしまいました。林先生の想いやすごさは伝わるが、できれば企画書の分厚さやテーマパークの建設現場などを実際に目で確かめたい。資金や図面は誰が?など気になる。面白い素材だが、映像などの具体的な内容が見えてこないとそのすごさが伝わりにくい。
5	夕陽学	はじめてのA. R. E.	入選	学校で起きている事件の背景を生徒と学校の両方から中立的な立場で描いている。生徒の声を主催者以外で多く聞きたかった。	タイトルのA. R. Eとは何? 音のバランスに注意。校長先生に言われた後は何もしていないの?今後の展開を入れても良かった。校内での話で広がりが無い。他校の取り組みや別の立場からの意見がほしい。タイトルと中身にスレがある。生徒目線で署名活動を取り上げている点がとてもよい。大種旅行と修学旅行の違いがもう少しくっきりと浮かび上がるとなおよい。インタビュー部分の音声をクリアに。活動の今後が気になる。研修旅行の具体的な内容を知りたい。修学旅行と何が違うのか分かる方が番組に入りこめる。BGMもなく単調に聞こえる。【校内での生徒や先生の許諾は?】
6	相愛	人生100年時代、挑戦する背中。	2位	先生の歴史なのか、新しい学びなのか、主題がブレている感じ。ナレーションの言葉選び、タイミングが的確で上手いが、少し多め。もっと肉声を聞かせてもよかった。	野口先生の気づきからの流れが非常によい。先生の学び意欲が伝わってきた。インタビューの音の処理をもう少し丁寧にするともっと良くなる。野口先生の生き方は素晴らしい。テレビ向き?前任教まで取材してほしい。野口先生に密着する中で、教育界の話題を様々な形で取り込めており、聞きごたえがあった。個別の話題をうまく野口先生の教員生活と絡めてまとめている。素材が面白い。ナレーションに頼りがちだが、もっと本人の言葉や音楽・SEで構成するように工夫してほしい。

第70回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 番組部門 審査結果および講評

■創作ラジオドラマ部門

審査順	学校名	作品名	結果	田中主審講評	審査講評
1	堺リベ	ドリームボックス	3位	犬の殺処分の中に人間の身勝手さが伝えられた。犬を捨てようとして犬になった夢のストーリーが良い。ラストは希望にまでつなげているのも素晴らしい。	テーマは分かるが結末が予測できる。内容が人をひきつける。演技も良い。間を取ったり音を入れたりして流れにメリハリをつけるともっと分かりやすくなると思います。ラジオでの表現をうまく使っている。社会問題を扱ったよくなった作品。音声のレベル(大きさ)が少し低い。
2	箕面自由	愛せるわけないじゃない	1位	ココという社会の片隅の存在が魅力的。主人公の痛みと成長が、アイデンティティを通して描かれている。音楽とSEで空間を作るのが上手い。セリフ、芝居にもセンスを感じた。	声の区別がわかりにくい。時事ネタに挑戦する勇気を買いたい。エンディングの状況が今ひとつわかりにくい。問題提起はよく分かる。丁寧に作っているが、最後に少し無理がある。高校生の視点としてはどうか。演技はうまい。
3	桃山学院	僕は僕	2位	テーマは新しいがセリフとキャラクターづくりが少し古い。音楽の使い方はテーマにはまっけて良い。さくらの告白と解決がやや唐突。	審査する方としては、ステレオ(左右別の音)は聞きにくい。ラジオ向きの内容。もう少し登場人物の整理を。二人の心のふれあいが良かった。演技も良かった。本人の想いをもう少し丁寧に。二人の世界からの展開がましい。間のとり方が良い。
4	箕面自由	熱波師郎 サ道での幕開け	入選	アニメっぽくて楽しい。音だけでサウナの空気を伝えようとするチャレンジは面白い。タオルだけでは伝わりづらいが、もう少し工夫できるポイントはあると思う。	声の演技は上手い。編集技術的にも良い。冒頭、話の中身がつかみにくい。最近の流行りを取り入れているが、サウナがわからない人には厳しい。ラジオドラマだからできる演出。テンポがいい。BGM処理が上手い。主人公の気づき場面があると、突然な感じがなくなる。面白かった。ストーリーが分かりやすい反面、先が読めてしまう。
5	府今宮工	新感覚の体験を	入選	セリフが実に素晴らしい。面白い。お芝居を磨けばもっと良くなる。SEと音楽の使い方がもっと良くなると思う。	漫才かコントみたいなドラマで楽しい。コメディタッチでゲームのよう。話の流れにBGMやSEを載せよう。テンポが良い。セリフの読みわけが分かりにくい。音声レベル(大きさ)注意。聞きやすい番組。前半の流れが後半少し急で分かりにくい感じがありました。

第70回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 番組部門 審査結果および講評

■テレビドキュメント部門

審査順	学校名	作品名	結果	田中主審講評	審査講評
1	府槻の木	唐揚げから見える世界	入選	身近な問題から世界へ向けた点が良い。情報番組のSC研究している。グルメコーナーもあって良い味付け。	着眼点が良い。テロップを上手に使用してほしい。 関係のない鳥インフルについて時間を割く必要があるのか？ 工夫した料理の話はテーマがずれている。取材がしっかりできていた。食べてみたい。 身近な唐揚げをテーマにした点良かった。唐揚げから様々なことが見えてきた。 それを聞いての感想も知りたい。唐揚げの値上げというテーマはよい。 山根氏の料理に蛇足感がある。 関係のない鳥インフルの話題が多い割に、本当の理由である燃料値上げの部分が一文のみだった点が残念。取材の努力が見られた。 山根氏の料理シーンでは、何かコメントがほしい。 食堂の業者に取材をしなかった点に疑問が残る（取材をしたらすぐに答えが出てしまうから？）
2	相愛	とらわれない。	3位	ASDをきっかけに人間的に成長している先生を良く描いている。高校生へのメッセージにつなげてよい。なぜ石田先生を取り上げたのが冒頭にあるともっと見やすい。	「障害」という言葉ではなく、「自閉スペクトラム症」という言葉の方が番組の趣旨にあう。 白と黒のファッションがASDと関係あるのかが伝わりにくい。ナレーションが上手で聞きやすい。 きちんと一人の人物を追いかけた番組ができていた。 テーマは面白いが、こだわりを表現するための教室の掲示板は説得力が低い。 テーマが良い。石田先生だからその部分を引き出してよい。他の先生のインタビューも良い。 グレーのカーディガンに疑問。映像の使い方が上手い。ストーリーがまとまっていて構成がよい。 人物の掘り下げがしっかりされている。
3	箕面自由	おはよう靴下	1位	靴下の破れやすい問題を色々な角度から分析している。問題の背景から原因を突き止め、新しい制服の考え方を提示している。	面白いが、番組の終わり方に工夫が必要。生徒たちの工夫はないのかについて疑問が残った。 良くまとまっていた。テーマが面白い。最後にもう少し追っても良かった。 多くの取材や実験があった点が良い。靴下ソムリエをよく見つけた。 48日間の実験が良かった。まとめ部分にも少しメッセージがほしい。
4	四天東	この授業タブレット使いません	2位	タブレットを使用する授業のサボリ問題をきっかけに、ICT教育の可能性から、教育や生徒たちの生きる未来まで考察して深く考えさせられる。良いタブレットの使い方の授業まで提示している。	よくまとめられているが、先生向けのICT授業研修のように見える。生徒側の視点がほしい。 タブレットをいかに使うかがよくわかった。エフェクトも良かった。 イマドキの話題が良い。ICTについての問題提起は面白い。 ただ、提案の内容はすでに実施されているのでは？ タブレットというテーマが良い。取材の多さも良い。グラフの切り替えが早い。 身近な話題ながら、大学の先生やアプリ開発元にも取材をし、最後には授業方法の提案まで踏み込んでいるよくまとまった作品。
5	府堺西	山岡、育休取るってよ	4位	素材は新しく良いテーマ。様々な角度から男性の育休について調査している。男性は育休を取りづらい問題についてもっと掘り下げてほしい。	テーマとしては身近で面白い。テレビ番組のメリットを生かして、現在育休中の先生の映像、少なくとも山岡先生の育児の映像はほしい。 男性教員の育休についての生徒の不安がよく表現できていた。 育休という話題のテーマ。学校現場での生の声がわかり、良かった。 テーマが良い。取材の多さが非常に良い。一部、テロップが読みにくい。 山岡先生の声がよく撮られていて、愛されている理由がよくわかった。 今社会で話題になっている内容に身近な先生の話からめ、面白く興味深く見ることができた。
6	箕面自由	New play"e"r	入選	eスポーツの魅力や良い点が良く伝わった。試合から入る構成が良かった。なぜeスポーツが増えているのかについてもっと知りたかった。	ゲームの内容を扱う訳ではないなら、ゲーム画面はそこまで必要？字幕が多い。 チームワークや情熱について知りたかった。 画面のモザイク処理の苦労がよくわかる。インタビューもよくできている。 テーマが面白い。部活なのか、eスポーツなのか、どちらかに焦点をあてるとさらに良い。 話題性はあるが、テーマがやや弱い。 eスポーツの現状や流行の理由がよくわかった。主人公をたてると物語が面白くなる。 【吉田さん・しょーりさんの許諾必要】

第70回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 番組部門 審査結果および講評

■創作テレビドラマ部門

審査順	学校名	作品名	結果	田中主審講評	審査講評
1	箕面自由	V	3位	メディアを使うことのリテラシーを素材にしている。主人公の反省と改心を描こうとしているが、主人公がなぜメッセージを送りたいのかよく見えなかった。	実際に問題になっているテーマでした。話は最後まで終わらせていました。ただ最後のオチは分かってしまいました。テーマ・映像・編集○ TV向き。カット割りなどよく考えています。音が少し不安定。全体としてよくまとまっているし、技術的にも頑張っています。動画投稿を題材として上手くまとまっています。演技もよかったです。ドッキリ動画→V→反省動画→でも消えない 動画配信者というテーマが高校生らしく○ストーリーだけを見ると、今の時代にありがちな話だが、編集・演出の技で大変面白く拝見しました。
2	四天東	この声をあなたに	2位	怪文書が放送部を変えるきっかけになるストーリー。ミステリーと青春ものを融合させている。部長の病気となぜみんな会えないのか知りたかった。	演者が大阪弁と標準語が混ざっている感じがしました。部長の想いをもう少し表現した方がよいと思います。テーマ○ 映像・編集 一工夫を TV向き 三脚をもっと使って！回想シーンの表現方法、思い切ってカットする部分など、編集を工夫すればさらに良い作品になったと思います。保健室登校の放送部。ハッピーエンドでよかった。フォーカスで場面転換ですが、使い方に気をつけてください。放送部がテーマ 高校放送部作品らしい作品○ ミス→保健室登校メモをリクエストボックスに放送部ならではの、悩み、苦しみを表現できていました。ラスト、曲流したままで大丈夫？
3	浪速	呪電	入選	ミステリーとホラーの要素を融合させた挑戦作。“？”が少し多い。なぜ早田さんに誰も何も問いたださないのか。	どこかで見たことのある映画に似た感じがします。ストーリーに無理のあるところがありました。映像・編集 一工夫を カメラは「もっと止めて切りかえる」ようにして、その絵にあった画角や背景とのバランスにしましょう。三脚も使って「スマホと呪い」、なかなかの演技でした。中古(?)スマホ リアルティーがない 演出・カットの切替○ 早田の正体が明らかにならないのが怖い。もう少しヒントがほしい。
4	箕面自由	二十二世紀の悪魔が嗚う	1位	未来を感じられる若者が未来を説く大人に背く話。若者たちの新しい生活は悪魔的なのか？考えさせられる。	少し暗いところがありました。ストーリーがわかりにくいところがありました。技術的にも力が入っていて、象徴的な画による作品だとは思いますが、どう受け止めていいのかわかりませんでした。点数をつけにくい作品です。映像全体が美しい。カメラワークがうまい。結末がどうなるのが気になります。行方不明 ×書き置きが自宅ゴミ箱から？青春の葛藤の表現、別の方法も考えよう。カメラワークなど映像はともよくできている。しかし「作品が伝えたいメッセージ」がよくわかりません。オチが今ひとつわかりにくかった。編集技法や演出が大変上手い。